

仏事の知識

忌中札

家族が亡くなると「忌中札」を玄関先に建てる風習があります。これは「この家では不幸がありました、今四十九日忌(初七日から始まり忌明けまでの供養期間)の最中です。亡き人が迷わず極楽浄土に到着できますようにと喪に服し供養を続けています。」と人々に知らしめるためです。これを見て通る人は手を合わせて亡き人の冥福と安らかなる旅路を祈ります。ところがこの忌中札には葬儀の日程等を書いておきます。(別に門牌を置く場合もある) いつ、どこで(会館)、何時から、通夜、葬儀といった情報が書かれています。葬儀後は「忌中」の字のみ。その時間帯は恐らく家は空の場合が多いので、それを狙った泥棒がいるとのこと、以前は自宅葬でしたからあまり気にはしませんでしたが、何とも物騒な世の中になりました。その結果、都会では「忌中札」を建てる家が少なくなつたそうです。万一の場合も考え、留守居も必要ですね。

瑞應寺だより(恭真)

愛媛県新居浜の瑞應寺に安居修行に入ってから半年が過ぎた。行持綿密に進められているお寺であり、毎日、仏のみ教えに従い修行を続けている。「般若入り」という法要があると初めて知った。大般若の経典を持って各家々を巡り、玄関先で般若心経読経し大般若経を転読するのだそうです。出張大般若会です。6月には自分で縫つたお袈裟の受衣式でした。お袈裟はお釈迦さまのお身体そのもの、袈裟裁縫の功德を積みました。現在は典座寮(雲水の食事を司るところ)の配役となり朝早くから開枕までお料理当番をしている。九月十日に電話があつた。久しぶりの元気な声に「安心、内容は十月二十五日、来年一月二十五日まで熊本県菊池市の聖護寺で修行すること。この寺は瑞應寺の現住、檜崎通元老師の兼務しているお寺で国際禅道場となっている。月三回の托鉢と坐禅で過ごす。十五年前は電気、ガスも無くカマドとランプの生活、もちろんテレビもラジオも無い。現在はどうなっているかは修行からもどつたら報告してもらつことに。

梅花だより

宗務所主催總持寺奉詠
 期日 十一月九・十・十一日
 会場 大本山總持寺
 奉詠 十一月十日午前九時
 参加 宗務所内梅花講員三百名
 全国梅花流奉詠大会
 期日 平成二十三年
 五月二十四日～二十六日
 会場 島根県出雲市大社町
 浜山体育館「カミアリーナ」

当寺練習会

十月十三日(水) 午後一時
 十月二二日(金) 〃
 十一月四日(木) 〃
 十一月二二日(月) 〃
 十二月三日(金) 〃
 十二月十五日(水) 〃

梅花流詠讚歌(御詠歌)を始めませんか!

お釈迦さま・道元さま・瑩山さまを讃え、ご先祖様を敬うところをお唱えします。



永平寺だより(秀孝)

二男の永平寺修行も三年半になりました。現在、受処の事録補(寮長)として参籠の手配、参拝者の接待等、責任ある立場になり、後輩の指導もしています。九月は「御征忌」(二十三日～二十九日道元禅師のご命日法要)があり、十月にはいよいよ送行(そうあん・修行を終えて寺に戻る)となります。乞願願いを提出し、お世話になつた方々に御礼のお拜をして本山に別れを告げます。

胎内市人権擁護委員

七月一日付けで法務省より胎内市人権擁護委員に委嘱されました。八名の委員が啓発運動を推進しています。

- | | |
|-----|--------|
| 西本町 | 高橋まり子氏 |
| 下館 | 威本 政之氏 |
| 桃崎浜 | 本田 範子氏 |
| 鼓岡 | 渡部 直登氏 |
| 荒井浜 | 長野 彰夫氏 |
| 築地 | 小林 朋子氏 |
| 東本町 | 奥村 町子氏 |
| 西栄町 | 神田 英俊 |

年回忌のご案内は正当各家へ直接ご案内ご通知しています。本堂には張り出ししてありません。

1周忌、3回忌、7回忌、13回忌、17回忌、23回忌、27回忌、33回忌(弔い納め)